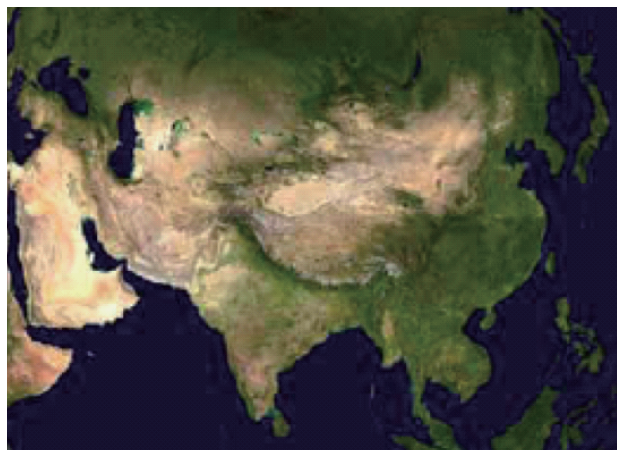


## 低炭素建築・都市づくりにおける国際貢献

### 環境モデル都市技術のアジアへの応用

- ①アジアにおける低炭素社会づくりに関連する基本情報及び政策・施策を把握することにより、我が国の環境モデル都市技術のアジアへの導入を促進し、今後我が国のエネルギーセキュリティの確保に資する情報を蓄積する。
- ②アジア都市における環境モデル都市事業導入のスキームを構築し、我が国の環境モデル都市事業をアジアにおいて普及させる。
- ③都市廃棄物の発生から最終処分までを定量的に把握し、資源化に最適な環境技術による適正な処理・処分と低炭素化社会の両立を目指す。



出典：フリー百科事典「ウィキペディア（Wikipedia）」

アジアエリア

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS) に基づく  
アセアン及び東アジア諸国等を対象とした学生交流支援事業

### 東アジア環境都市モデル都市構築のための 建築分野学生交流イニシアティブ

本プログラムは都市全体を社会と環境の面で両面で持続可能にし、環境モデル都市構築するために、東南アジアとの連携を確立し、要素施策と全体施策の融合を図る方策を方法論の開発と事例研究によって提示する。建築・都市エネルギー施策の理論と事例を学問的に確立し、それらに精通した多くの人材を戦略的に養成し得る東南アジア建築分野学生の教育研究イニシアティブを形成する。



日本学術振興会  
「若手研究者支援事業～東アジア首脳会議参加加盟国からの招へい～事業」

### アジア地域エネルギー供給セキュリティを確保するための 建築分野学術交流

経済発展が著しい ASEAN 加盟国では、地域的な総合安全保障の一環として、エネルギーセキュリティの確保がクローズアップされている。タイ、インドネシア、ベトナムの大学若手研究者との交流により、今後アジア建築分野学術交流において、学術情報の収集や情報交換を更に深め、建築省エネルギー研究の最新情報を日本から発信しながら、若手研究者から ASEAN 加盟国の情報を仕入れ、日本市場に伝わる事ができる。

